

## パルスオキシメーターで何をみているの？

昨今のコロナ渦でよく聞く「パルスオキシメーター」という言葉。最近ではご自宅でも1台持っている方もいらっしゃると思います。

このパルスオキシメーターで計測した値が

「**コロナ患者重症化の目安**」や「**96%を切ったら保健所へ連絡**」などメディアでよく耳にしますが、実際はパルスオキシメーターで何をみているのでしょうか。



日本人が原理を考えたらしいよ！

○どうやってはかっているの？

指にクリップのような機械をつけて皮膚の上から赤い光を当て、動脈血中の赤みを計測することで、体の中の酸素の量（酸素飽和度%）と脈拍を測っています。



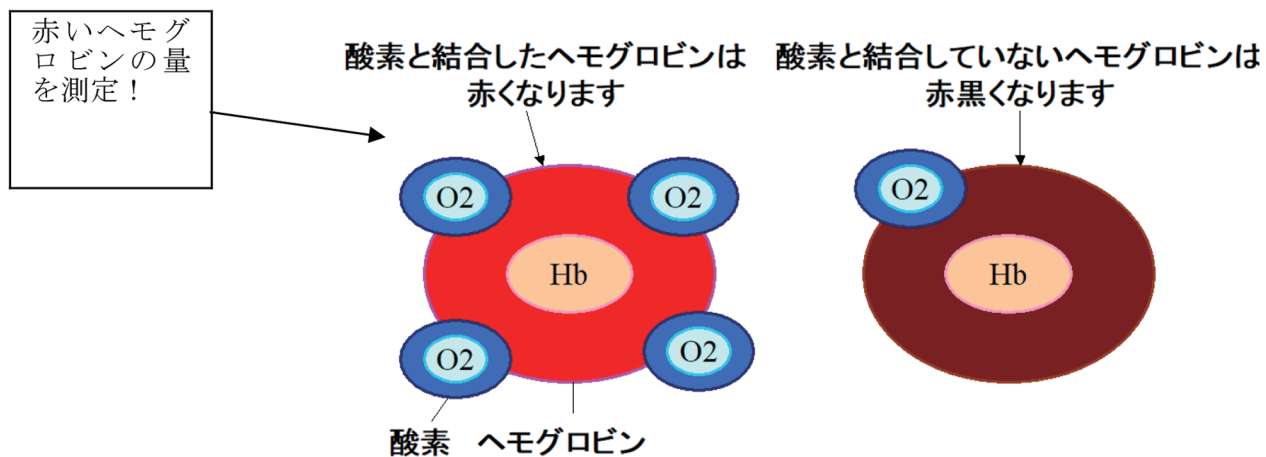
○酸素飽和度って？

私たちは呼吸をして酸素を肺の中に取り込んでいますが、その取り込んだ酸素は肺から血液へ、血液から臓器へと渡っていきます。

血液に取り込まれた酸素は「**結合型酸素**」と「**溶解型酸素**」の二つに分けられます。

「**結合型酸素**」はヘモグロビン※と結びついた酸素のことで、酸素と結合したヘモグロビンの量を「**酸素飽和度（%）**」といいます。

※ヘモグロビンとは、赤血球に含まれるたんぱく質であり、酸素を運搬する役割を担っています



○酸素飽和度が低いとどうなるの？

酸素飽和度が低いということは、

1 肺で酸素が取り込めていない



2 ヘモグロビンと結合している酸素が少ない



3 臓器に酸素を送れない！



4 体中が酸欠になっている！！（臓器が上手く働かない）

という状態に陥っている可能性があります。

パルスオキシメーターはコロナ重症化の目安になるといわれていますが、コロナだけでなく、そのほかの病気やケガなどの要因で「呼吸ができていないか」「体中に酸素がいきわたっているか」などが指に挟むだけでわかるとてもすごい医療機器といえます。

○正しい測り方は？

指に挟むだけであらゆることがわかるパルスオキシメーターですが、正しく計測できないと何の意味もありません。

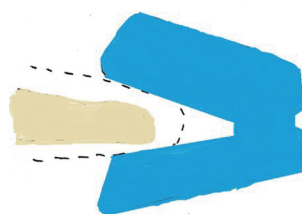
使用するときには以下のことに注意してください。



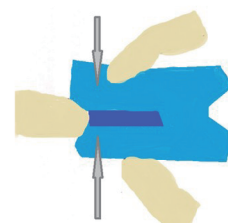
マニキュアや  
つけ爪は付けない



汚れた手で使用  
しない



指は奥まで入れる



押さえつけない



医療機器は  
「正しく」「安全に」  
使いましょう！